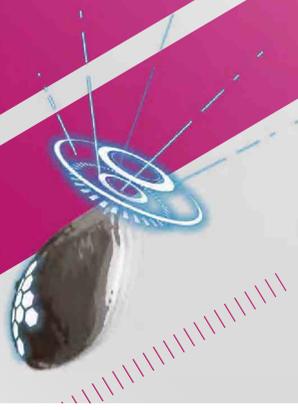


ORANGE CUP 2016

- アイデアのタネ コンテスト -



TITLE:

盲目の人に視界を与えるツール

大場 彩萌

神奈川県 神奈川工業高等学校

アイデアの種

駅で危ない思いをされた盲目の方を思ったのがキッカケです！

通学で利用している駅でのことです。毎朝、駅の構内ですれ違う盲目の方がいるのですが、朝は混雑していて、その人はよく人にぶつかられてしまうのです。

それはとても危険だし、その人にとってきっと怖いことだと感じていました。目が見えていれば避けることができるし、物を見ることで発見や驚きなど楽しいことをたくさん体験することができるので、ぜひこれらを知って欲しいと思いこのデバイスを考えるに至りました。

どんなデバイス??

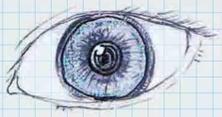
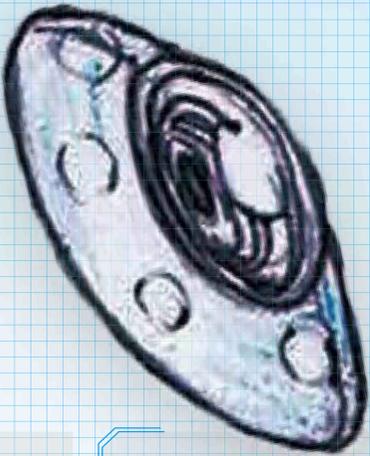
健常者との隔たりをなくせるようにも考えました！

カメラはコンタクトのように眼球へ直接つけることで、健常者と同じ視界の広さを取ることができます。撮った映像を首につけた機器に送り、そこから脳に信号を送って視覚を直接知覚させます。カメラと機器はセットになっており、別の人の映像と混ざることはありません。

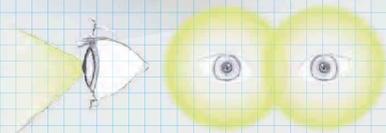
機能としてはスマートフォンのように、ネット・ゲーム・カメラ・音楽・通話などを使用でき、それらを視界に直接表示し、触ることができます。脳に信号を送ることで視覚と聴覚にも感覚を知覚させているので、例えば、動画・画像の猫を撫でた感触を味わうこともできます。逆に発作・事故による体の異変の信号を感知することで、救急にいち早く知らせることが可能です。

このような機能のため、健常者もこれを使うことができ、盲目の人が使うものというイメージをなくすこともできます。

コンタクトレンズ型カメラ



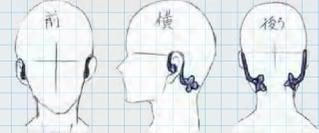
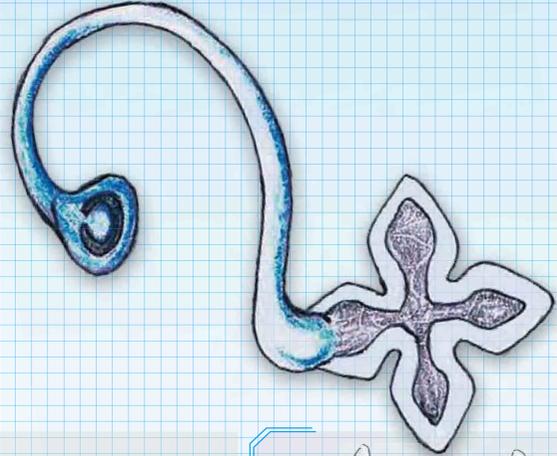
瞳孔と同じくらいの大きさ



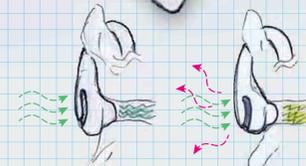
範囲

※カメラは健常者はつけない

イヤフォン一体型機器



装着イメージ



外からの音を通すときと、音楽のみを聞くときで機能を使い分けできる

使用イメージ

